

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第89号
2024.8.1

特集

どうなった?
提案・質疑その後を追跡

：P2

田無大橋から望む夏のもみじ湖

CONTENTS	● 6月定例会で決まったこと	P3	● 町政のここが聞きたい！
	● 審査のなかみ	P4	一般質問 P5～19
			● 自治のチカラ
			活動日誌 P20



議会ホームページ

一般質問の様子を動画で！

各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

特集

追跡！ どうなった？ 提案・質疑その後

町民の皆さんのがんばり、議員の一般質問や委員会審査などで提案・質疑してきたことが、町政に反映されているのか、その後を追跡しました。



箕輪町郷土博物館
誰もが来館できるように
エレベーターか昇降機の設置を

令和5年6月一般質問・委員会



令和6年9月28日
リニューアルオープンに向けて
昇降機を設置。



文化センターのエントランス
来場者を太陽光パネルでなく、花で迎えたい

令和5年6月一般質問



ソーラーパネルの範囲が縮小され、
花壇は残ることになりました。

パネル予定地だった
文化センターの花壇

兼業就農者にも支援を 令和5年9月一般質問



農業次世代人材支援
事業として令和6年度
予算化決定。

- ①兼業就農者 60万円/年 × 最長3年
- ②定年帰農者 機械等導入3分の1、上限50万円補助
- ③雇用就農 60万円/年 × 最長3年、法人200万円



小中学生に被爆地で
生の声を聞かせたい

令和5年度まで長年継続して一般質問



令和6年度予算化
広島平和交流
学習参加交付金
(150万円)
8月に実施予定。



役場の職員、ひとり何役？

町の大切なインフラ担当課、
建設・水道課の課長と係長の
兼務は解消すべき



令和5年6月一般質問

令和6年4月
人事異動で解消されました。

みんなの**声**で**町**が変わります。

他にも実現された事がたくさんあります。
あなたの思いを、提案・質問にします。
その思いを議員にお伝えください。

6月定例会で こんなことが決まりました

決定!

補正
予算

観光協会補助金

観光ポスター、パンフレットの
リニューアル経費を全額補助

350万円

観



補正
予算

経営体 育成支援事業 補助金

果樹農家への高所作業車導入
支援補助

649万円

農



請負
契約

屋内スポーツ施設耐震改修リニューアル事業



ここに注目!

■建築工事 契約者 浅川建設工業株式会社

市民体育館と武道館の耐震
改修・機能強化工事

11億6,600万円



■設備工事 契約者 株式会社マツシマ

市民体育館と武道館の冷暖房
設備の新設、トイレ等更新工事

2億9,700万円

■電気工事 契約者 有限会社高木電工

市民体育館と武道館の照明を
LED化、放送設備改修等工事

1億7,996万円

令和8年3月完成予定

市民体育館・武道館改修
総額16億4,296万円

議員の視点



エレベーターの設置を
提案してきたが実現できず。必ず1階に応援席
を設けるとのことだが、
疑問が残る。

ゼロカーボン推進のため率先して公共施設に太陽光発電を入れるとのことだったが、これだけ大きな施設に設置しないのはなぜ。

駐車場の配置に危険性がある。
利用者の安全確保が課題。



条例
制定

箕輪町郷土博物館条例の一部改正

郷土博物館の入場料を博物館法に基づき
無料とするもの。

人事
案件

固定資産評価審査委員会の委員の選任

加室 理恵 氏 (沢)

陳情

- 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める
国宛の意見書を採択する陳情 全員一致 採択
- 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの
再改正を早急に行うことを求める陳情 全員一致 採択

意見書の提出・賛否が分かれた審議

提案の趣旨 地方自治法改正案の廃案を求める意見書の提出について 提出者 岡田建二郎

入杉百合子	小出嶋文雄	南朋子	平出広志	小口智世	中村政義	中澤清明	上田学	北野めぐみ	金澤幸宣	白鳥喜吾	中野友美	岡田建二郎	寺平秀行	荻原省三	結果
○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	- 採択



ここに注目!

国の指示権拡大の是非、
廃案で可決。箕輪町議会として画期的な判断

※討論の詳細は会議録検索システムの作業終了後9月末に議事録を閲覧することができます。



審査のなかみ

委員会で審査された内容

Q 議員 A 役場担当

総務
産業

令和6年度 一般会計補正予算(第2号)

電子決済が進むとここに影響が出る

- Q 税務総務費の地方税電子化協議会負担金の増額23万円の理由は。
- A パソコンやスマートフォンからの納税システム負担金。住民税に加え、固定資産税と軽自動車税も電子納税できるようになり処理件数が増えた。
- Q 電子納税は、町民の何%でどのくらい発生しているのか。
- A 人数や割合は把握していない。
負担は令和4年1,802件で9,517円が、令和5年8,509件で245,517円。



ここに
注目!

農業の育成にはこんな補助もある

- Q どんな農業事業にどういった内容の助成か。
- A 果樹農家へ自走式高さ3.5メートルの高所作業車10台導入費。一部国庫補助で県が交付決定し、2分の1補助、2分の1融資。



町の観光をリニューアル

- Q 観光パンフレット・ポスター作成は、業者委託か。作成スケジュールは。
- A 町観光協会へ委託している事業で、理事会等で選定。今年度未完成予定。
- Q 赤そばの里補助金の内容は。
- A 仮設トイレや、あづまやをバリアフリー化など。



福祉
文教

令和6年度 一般会計補正予算(第2号)

健康被害があったら早めに相談を

ここに
注目!

- Q 新型コロナワイルスワクチン予防接種健康被害給付金の内容は。
- A 国からの給付は、1名分289,000円。給付金申請は5年さかのぼることができる。

郷土博物館へ寄付がありました

- Q 郷土史家から郷土博物館への寄付金50万円。その使い道は。
- A ノートパソコン、ワイヤレスアンプ、マイク等を考えている。



現地
確認

総務
産業

町道499号線
認定(松島)
6月12日(水)



町道499号線

福祉
文教

伊那松島駅公衆トイレ新設
箕輪町郷土博物館リニューアル工事
6月13日(木)



伊那松島駅公衆トイレ



箕輪町郷土博物館

町政の
ここが
聞きたい！

一般質問

議員
14人
質問・提案しました。



主な質問	議員	ページ
下水道事業、値上げ前に不明水対策と周知を	南 朋子	6
犯罪被害者等支援条例の早期制定を	平出 広志	7
みのわ祭りの熱中症対策にみのわBASE開放を	金澤 幸宣	8
訪問介護報酬引き下げ撤回の要請を	白鳥 真吾	9
単身高齢者を誰がどう支えるのか	入杉百合子	10
箕輪町における犯罪被害者の支援の状況は	北野めぐみ	11
箕輪町雨水排水計画は生きているのか	中澤 清明	12
区・常会などの組織の加入状況は	小出嶋文雄	13
有機給食導入の考えは	中野 友美	14
再犯防止推進計画を策定、犯罪発生の要因は	寺平 秀行	15
生ゴミ削減に「キエ一口」を導入してみては	上田 学	16
多様な学びコーディネーターの活動内容は	小口 智世	17
今回的人事移動に対する町長の所見は	中村 政義	18
公用車の100%EV化は見直すべき	岡田建二郎	19

一般質問の様子を動画で！



1 スマホで各議員の写真の横にある二次元コードを読み込んでください。

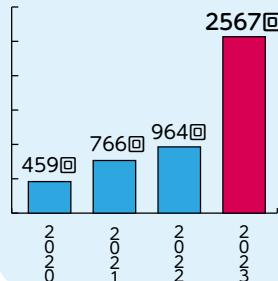


箕輪町ホームページの議会配信サービスからも視聴することができます。

2 URLをタップすると一般質問の様子を動画で確認することができます。



動画の閲覧回数が年々増えています。



知ってる？

みのわまちのいいところ

箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

お待ちして
います！

かやのこうげん
萱野高原

中心街からほど近い、林道を抜けてたどり着く、標高1,200mの大パノラマが広がる高原。町の東側に位置し、伊那谷を一望できるここからの夕日は「信州のサンセットポイント100選」にも選ばれた絶景。

3つのアルプスが同時に眺められるキャンプサイトは、ここ以外にはないのでは。

町からのルートは3通りで、福与側からの道がおすすめ。

また、アカマツやシラカバ林を縫うようにめぐる遊歩道には、シラネアオイやミズバショウなど珍しい植物にも出会える。進んだ先に現れる夫婦神社は、縁結びの伝説がある出雲大社ゆかりのもの。そこには夫婦岩・夫婦松もある。ふらっと行ける、萱野高原は箕輪町のたからもの。



下水道事業、 値上げ前に不明水※対策と周知を

町長 広域化は必要、効率化に取り組む

※不明水とは 本来下水道管に入る生活排水以外に侵入する水(雨水・地下水)のこと。

みなみ ともこ
南 朋子 議員



下水道事業の現状と 課題は

議員 課題に対し、下水道事業の在り方や戦略は。

町長 現時点でも一般会計からの繰入金が約5.2億。徹底した効率化や、経営の健全化に取り組んで、経営戦略を策定する。民営化、民間への譲渡、民間活用、広域化については、施設の老朽化、使用料収入の減少、専門人材の不足という状況の中で、公だけで維持していくことは難しい。PFI、PPPや委託等を含め、考えていかなければいけない。

議員 近隣と比較しても際立つ有収率の低さ、不明水の原因と対策は。

町長 有収率の低さは事実。宅内排水の誤接続(雨水が下水に)も要因。バイパスの下を通る管きよの破損が推測される。令和7年度にストックマネジメントの計画更新を予定。緊急性の高い所から探し当てる、改修工事をしていく。

議員 下水道審議会でも料金値上げの話が出ているが。下水道公社とともに、近隣市町村と料金徴収の広域化の経営戦略などの考えは。

町長 市町村間独自でやっていくのは難しい。広域化は維持管理の効率化という意味で必要。

議員 値上げする場合も、あらゆる策を尽くし、説明・周知した上での値上げであるべき。



役場駐車場の混雑

議員 役場利用者が、満車で駐車できなかったとの声あり。箕輪中の家族タクシーの多さについて、過去の質問後の対応は。

教育長 現状を良いとは思っていない。継続して呼びかけをお願いしていく。

議員 本来、役場に用事がある方のための駐車場。少し離れた場所に止めるなどの配慮を。先回りして子どもを守り過ぎるのは、ある意味親のエゴ。不審者など危険性への察知能力、3km程度は歩ける脚力を身につけてあげて。

教育長 やっぱり歩いてきてほしい。心肺機能、危機回避能力、季節を感じる感性などを身につけられる大切な時期。学校とも相談しながら、キャンペーン的な取り組みも考えていきたい。

議員 ソーラーカーポートの整備に



封鎖された優先駐車場

併し、電気自動車の充電のために、優先駐車スペースがふさがれてい。住民の利益や福祉を守る側の役場として、本末転倒では。場所を移動できないか。

ゼロ室長 電源を取るという観点から、あの場所に設定。暫定的な措置。

「みのちゃんバス」の利便性

議員 土日祝の運行がない、飯田線との連携、便の少なさから利用しづらい。家族タクシーへの依存にもつながる。今ある資源をもつと活用できるようにしてはどうか。

町長 便数を増やすということは考えていない。減便が妥当。

ごみ袋のサイズ

議員 町の家族構成割合は、1～2人世帯が半数以上。夏場は収集日の直前まで冷蔵庫に入れているケースも。小さいサイズの追加検討を。

くらしの安全安心課長 要望を上伊那広域連合に提案し、検討してもらう。

ゼロ室長 :総務課ゼロカーボン推進室長

犯罪被害者等支援条例の早期制定を

町長 来年3月議会での制定を目指したい

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



議員 誰もが、ある日突然、犯罪に巻き込まれるおそれがある。犯罪被害者等の早期回復を図り、安全で安心して暮らせる社会を実現し支える、この条例の早期制定を望むが、進捗状況と制定スケジュールは。

町長 8月末までに素案を作成し、10月までに関係機関や団体から意見聴取を行い素案を完成させ、パブリックコメント等を経て、来年3月議会へ提案させていただきたい。

議員 被害者等への支援について、町において検討すべき重要課題は何か。

町長 経済的支援では見舞金の他に転居に関わる支援、就労に関わる支援等について支援の幅を他市町村との比較も踏まえて考えたい。また個人情報や人権尊重の問題についてどんな扱いにするかも議論がある。更に条例制定後の周知、啓発の方法も考えたい。

安全・安心なまちづくり条例の対象範囲は

議員 この条例の対象は、日常生活全般にわたる広範囲になるが、特に重要視する対象範囲は。

町長 セーフコミュニティ活動の成果を活かし、暮らしの安全、交通安全、多文化共生、自然災害、今まで扱って来なかつた防犯を重点的に考えている。

議員 近年自殺者の増加が問題となってきた、大変重要な課題

と考えるが。

町長 自殺予防については、別計画があり、本条例の対象範囲にいれるかは現在研究中。

中学校の新制服 決定スケジュールは

議員 新制服検討は最終段階にきており、現状と決定・公表の予定は。

教育長 現在最終候補を3点ほどに絞っている。6月中に全中学生と小学5、6年生にアンケートを実施する。また、参考意見として全保護者対象のアンケートを計画している。7月初旬には最終案を決めて8月夏休み明けには公表する予定。



新制服最終候補デザイン

定額減税について

議員 定額減税分が減税しきれない方には、調整給付金が支給されるが、対象者数と支給申請方法は。

町長 対象者は約4,700人、対象者には支給金額が記載された確認書を送付し、必要事項、書類添えて返信用封筒で返送いただき、支給を行う予定。

「デジとしょ信州」の普及について

議員 県と自治体が共同で導入し、無料で電子書籍を利用できる「デジとしょ信州」は令和4年8月からサービスが開始されたが、町の登録、貸出件数は。

教育長 5月末現在123人の登録者があり、全貸出数は911件。

議員 電子図書は新図書館でもぜひ導入をという要望もある。この「デジとしょ信州」を学校での授業等に導入し推進すべきと考えるが。

教育長 現在町図書館で校長会等へ導入に向けた説明を行い、全員が登録できるよう準備を進めている。

新移動図書館車更新の進捗は

議員 本年度新移動図書館車購入予算が計上、可決され、約25年ぶりの更新に、児童生徒をはじめ、多くの町民の皆さんのが心待ちにしている。更新スケジュールは。

教育長 先日、福島県富岡町の新規導入車両を視察させていただき、仕様を検討中。8月初旬までに決定し、9月初旬までに発注する予定。車両の製造は受注生産のため、令和8年度当初の公開、運行を目指している。



現行の移動図書館車

みのわ祭りの熱中症対策に みのわBASE開放を

町長 「避暑休憩施設」としての活用に同意

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員



議員 みのわ祭り開催日は、一年で一番暑い時期。気象庁は観測史上最も暑かった昨年に匹敵する災害級の暑さになる可能性が高いとして早めの熱中症対策を呼び掛けている。みのわBASEを熱中症対策としてクーリングシェルターとして開放すべく、実行委員会ではなく自治体主導で行う案件と考える。



「避暑休憩施設」として開放される
みのわBASE1階のフリースペース

町長 昨年のみのわ祭りでは4人の救護対応でしたが、救急搬送には至らない処置対応者数までは把握出来ていない。クーリングシェルターは恒常的施設の指定があるため、「避暑休憩施設」として1階フリースペースを活用することに町として同意している。その他の施設については、クーリングシェルターとして活用するには施設管理者と協定を結ぶ必要があるが、目ぼしい施設はこれから相談してゆく。学校施設は、熱中症対策ガイドラインに沿って実施する。併せて、夏季に行われる大会等は、現状の

やり方、時間、参集人員等も含め再検討する必要がある。

町職員の顔写真入り名札 見直しの考えは

議員 近年の町職員へのカスタマーハラスメントの実例はあるか。

町長 現時点、大きな事案としては無いと認識している。

議員 今、全国の自治体で脱フルネームの動きが広がっている。当町職員の名札は、顔写真入りフルネーム名札を見直す考えはあるか。

総務課長 町政70周年の記念事業として名札のデザイン変更を検討中。職員の個人情報保護の観点から顔写真は掲載しない予定。フルネーム、名字のみ、外国人対応も考慮し平仮名表記等、現在検討中。

ゼロカーボン施策の成果 可視化し継続発信を

議員 いよいよ最大施策のソーラーカーポート事業が始まったが、依然として事業執行側の町と町民の間に温度差がある事は否めない。施策の成果が見えないことが最大要因と感じている。事業実施の有無による違い等をより解り易く可視化(数値化・グラフ化等)し継続的に発信すべきでは。

町長 成果が可視化に至っていない事は事実で公表は大変重要である。現在、担当課で公表の在り方・内容について検討中である。府内

にプロジェクトチーム、委員会があり調整の上公表したい。CO₂削減目標は、2000年対比60%削減だが3年ほど前倒しで実現見込み。

議員 太陽光発電設置は、元が取れるのか懐疑的な見方が多い。電気料金値上げ・原油高騰などのマイナス要因払拭に対し、設置の費用対効果の有効性をもっとアピールすることが説得力を増す。



パネル25枚発電量9.6kwの
屋根上太陽光発電設備

ゼロ室長 電気を自ら作り出すことにより電気使用をためらわない。熱中症予防にも繋がり、気候変動対策適用面からも大きなメリット。設置した住民による座談会、リーフレット配布、設置事業者の無料相談会等を実施した。今後、費用対効果の有効性をしっかりと配信する。

議員 みのわテラスの急速充電設備設置のその後の進捗は。

町長 出来るだけ早期に設置する必要があると考えている。みのわテラスの第2期開発に先行して整備を進めるよう検討している。

その他の質問

●カメムシ大量発生について

●“老いるショック”について

ゼロ室長 :総務課ゼロカーボン推進室長

訪問介護報酬引き下げ撤回の要請を

町長 必要な行動はしなければいけない

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



議員 訪問介護報酬引き下げについて事業所からは「訪問介護だけがどうして引き下げられたのか」「経営はこれまで以上に苦しくなると思う」などの声が上がっている。今回の改定が大きな影響を与えているのは明らかだ。事業所の皆さんのが声、実態を把握しているか。

町長 町内3カ所の事業所のうち、2カ所からヒヤリングを行った。事業所の経営といった面にどういった影響を受けるのか、それが利用者にどう影響するのか、見極めをしていかないといけない。

議員 国が決めたことだから仕方がないのではなく、地域の介護を守る立場で、国だけではなく、県に対しても、報酬引き下げ撤回の要請を。

町長 経営面への影響、利用されている皆さんへの影響を見極めた上や、他の自治体がどんなかたちになっているのか、上伊那地域を含めて伺いたい。それらを受ける段階で必要な行動はしなければいけない。影響が大きいということであれば、上伊那広域連合の問題である。

ヤングケアラーの実態調査実施を

議員 前回の調査も2年以上前となっている。ヤングケアラーについて実態調査の実施を。

町長 教育現場と相談をしなければいけないと思う。答えてくれないと結果が出てこないという数字であり、正確な数値を求めることができないかは考えてみたい。

議員 教育現場でも実態調査を。

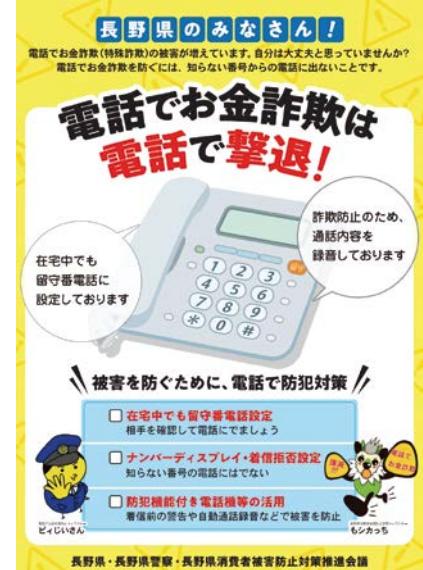
教育長 困りごと調査的なものは毎年実施している。特化しての調査となると、デリケートな問題や、本当にそうかなのか分からないような状況が出てきてしまう。子どもたちに理解してもらうにはいいと思う。困っている子どもをそのままにしないことが大事であると思う。

議員 子どもたちや家族、地域の皆さんができるところに相談したらいいのか知っていることが重要。相談窓口、ヤングケアラーの説明をホームページに掲載をしている自治体もある。町のホームページにも掲載を。

こども未来課長 こども家庭センターの相談窓口を掲載している。ホームページのリニューアルの方も予定されている。情報がより見やすく、必要とされる方に情報が届くようなかたちで工夫をした掲載を検討していきたい。

詐欺被害の現状は

議員 連日のように特殊詐欺被害の報道がされており、電話でお金詐欺だけではなく、SNS型投資詐欺など手口も多様化している。被害の現状は。



出典:長野県公式ホームページ

町長 県警から公表されている詐欺被害は令和5年に架空請求詐欺が1件ある。ここ5年間では8件、620万円の被害が確認されている。全県では件数、被害額も増加をし、最近ではSNS型のものが多く出ていることもあり、警察で特殊詐欺被害についてPR活動をしているが、町としても、注意喚起や出前講座等で対応をしないといけない事態に入っていると思う。

議員 固定電話への前兆電話は年齢に関係がない。特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助金制度について年齢による条件をなくしては。

町長 要件はいくつかあるが、年齢要件とか電話の機能の問題があり、利用が伸びないということであれば検討する。今、固定電話をあまり使ないので、伸びが期待できない分野とは思う。年齢要件については検討する。

単身高齢者を誰がどう支えるのか

町長 地域包括ケアシステムの活用を

いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員



議員 単身で独り暮らしの高齢者が問題に直面したとき、誰がどのように支えるのか、支援の在り方について町長の所見は。



单身高齢者のためのサポート

町長 医療と介護の連携カードの配布や、支え合いマップでの支援体制で、独居高齢者の訪問などを通じて様子を確認して個別に対応をしていく。まさに地域包括ケアシステムを活用していただきたい。

議員 横須賀市のエンディングプランサポート事業は協力葬儀社との生前契約をサポートし、亡くなるまでの間、市職員が電話や自宅訪問で見守りを続ける事業。長野市では「おひとりさま」あんしんサポート相談室を市社会福祉協議会に委託して、金銭管理などの困りごと相談に応じている。当町でもこの様な取り組みができないか。

町長 個別対応ができる範囲のものであれば、独居高齢者が多くなっている中で、事例も出ていることから、今後検討していきたい。

議員 人間関係の希薄化が指摘される地域社会で、孤独や孤立の状態にある人たちへの理解を深めることを国民の努力と位置づけられ

ているが、町長の所見は。

町長 行政とすれば、通いの場とか福祉的な意味合いと健康管理の意味合いで、外に出るような行事とかイベントとか仕組みなどをつくっていく必要があると思う。

議員 高齢者や障がい者などは、孤独死した場合の対応や家賃滞納など、トラブルへの懸念から賃貸住宅入居を拒まれるケースがある。このような人たちに対応するため、町で確保している物件は。

町長 議員がおっしゃるような内容のものは町には無いが、公営住宅制度を利用して、低所得世帯で利用をしていただきたい。

議員 少子高齢化や核家族化により、身寄りのないひとは不安を抱えている。不安解消手段として、第三者に依頼しておく死後事務委任契約がある。当町でもガイドラインを早急につくるべきと思うが。

町長 課題になるのは個人負担のできない方が独居で生活をしたり、お亡くなりになった場合の対応ということなので、それをどうするかという議論の方が先かなと思う。

地域おこし協力隊 15年の総括は

議員 これまで15年間の協力隊の実績はどれ程のもので、町にどれだけの効果をもたらしたのか。

町長 当初は行政事務の保管型ということで、事務が多かった。その後活動提案型で、一定のミッショ

ンを町として想定して、その中で活動中していただくという方式に切り替わってきた。様々な角度から町を盛り上げてもらい、退任後の定着率も高い。課題は、地域住民との関係性の構築が難しくなってきたこと。今後は引き続き新たな発想で活動していただきたい点と、あまり多くの採用はしない。

17歳町民の 意識調査結果は

議員 町への不満は減少したが、満足度は横ばい。受け止めは。

町長 今回若干数値的にはマイナスの要素があるが、ほぼ例年と同様な誤差の範囲かなと思っている。

議員 箕輪学について町長の考えは。

町長 今の子供たちは好きにやっていい時代だが、ふるさと箕輪を誰も意識しないで進学や就職してしまう。それでは困るので、信州や箕輪に対する愛着を持ってもらいたいと思って作った。



議員 授業の中での取り組みは。

教育長 体験を通して学んだ人たちの愛着度は高い。体験したことの意味を言葉にし、振り返りにしていくよう取組んでいる。

その他の質問

- 人口減少を前提とした町づくり
- 「メゾンみんなのわ」の利活用について

箕輪町における犯罪被害者の支援の状況は

町長 啓発活動が主体となっている

きたの
北野 めぐみ 議員



議員 犯罪被害者については、平穏に生活をしている中でも、突然起こり、誰もが犯罪被害者やその家族となる可能性もある。そこで、町における犯罪被害者の支援の状況や課題は。

町長 広報活動として窓口でチラシやパンフレットを置いたり、11月の犯罪被害者週間に合わせて広報での啓発をしている。相談事例も含めて面接事例などあまりそういう経過はない。

議員 性被害等名乗れない犯罪被害者を支援するための対応は。

町長 町でできる範囲としては、まずは啓発活動とすることで、声を上げることの大切さを理解するような啓発とか、具体的な相談を受けていただける長野県犯罪被害者支援センターといった存在を知っていただくための情報発信は必要だと思う。また、性暴力被害者支援センターとして「りんどうハートながの」というものがある。専門の研修を受けた支援員が相談に応じている。医療や弁護士活動、またカウンセラーなどの専門家の支援につないでいきたい。

議員 犯罪被害者等支援条例についての町としての考えは。

町長 どこでも犯罪被害に遭うかもしれないという大変難しい時代になっている。住民の皆さんのが安心して生活をするためのセイフティネットの一つとして、支援条例が必要だと考えている。町としても本年度条例の制定に取りかかり、3月の議会で皆さんにご提案をさせていただきたいと思う。その間ご協力をお願いしたい。

外国籍児童生徒の教育について

議員 外国籍にかかる児童生徒数の箕輪町における推移は。

教育長 箕輪町内としては比較的大きな増減はないという状況で、最大数でみると令和元年に小学校は最大30人、それから中学校だと平成27年に21人となっている。ほぼ、横ばいで動いている現状だ。

議員 外国籍にかかる児童生徒の学校生活の様子の実態と課題は。

教育長 箕輪町では中部小学校と箕輪中学校に継続して日本語指導教室を開設している。一番最初は言葉と日本の文化を理解してもらい、その上で各学級で教科学習をしていく流れで長年取り組んでいる。小学校の課題としては、学習面において高学年になるにつれて文章理解、日本語理解に課題が出てくる。また、日本語も母国語も両方とも読み書きができない状況

になるのが一番心配である。中学校においては、専門的な言葉の理解という課題等もあるが、そのような弱点だけで終わらせらず、いろんな方の力を借りながら、2カ国語ができるなどを自分の強みに変えていくことによって、前向きな取り組みができるようにしたい。子どもたちの心情に寄り添いながら、目標を持ち困難点を少しづつ解消できるように取り組んでいきたい。

帯状疱疹ワクチンについて

議員 帯状疱疹ワクチンの助成についての箕輪町の考えは。

町長 県内の市町村における帯状疱疹ワクチンの助成が増えてきた状況もあるので、よくよく考えていかなければいけないと思う。今後、3人に1人がかかると言われていることが、本当になくなるのだと言うことが立証できて、国がそれぞれ定期接種として推奨するというようになった場合は、考えていく必要があると思う。



その他の質問

●子宮頸がんワクチンについて



箕輪町雨水排水計画は生きているのか

町長 宙ぶらりん、死んでないが死に体

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



議員 平成21年度に策定した雨水排水計画は数千万以上の金をかけ、各区長、用水代表等が参加し、町内全域をカバーした計画で、基幹下水道を新設しそこに雨水を流し込む排水路を整備すると言うもので、20年の年月と300億をかけ、雨に強い町づくりを進めると大きく発表したものである。平成23年からは沢大出の国道バイパス地下に基幹下水道が完成したがこれへの集水は進んでいない。また松島、木下など沢大出地区以外は全く手が着けられていない。雨水排水計画は生きているのか。



第2排水区基幹雨水排水下水道工事の様子

町長 事業費の問題、事業の進捗が見込めないことから平成29・30年に見直しをして松島木下地区的事業展開はこの計画では難しいと判断した。しかし、下水道の事業認可をとつて都市計画法の計画決定を受けているのでこの計画を変更したり廃止するわけにはいかない。この計画は宙ぶらりんの状態・・・死んでいないが死に体である。

議員 巨費を投じた計画が沢大出地区の下水道トンネルが出来ただけ

で他は実現不可能な計画というのは大変な問題である。この際実現可能なものに作り直してはどうか。

町長 雨水計画を作り直すには国との調整が必要となるので、作り直すよりも下水道事業を活用せずに通常の河川事業とか農業土木に関わる事業を使って出来る範囲でやっていきたい。

議員 雨水排水は安全なまちづくりにとって大事なこと。現雨水排水計画も死んでいない以上HP上に公開すべきと思うが。また一旦発表した計画を見直すときは町民に周知すべきと考えるが。

町長 町民の皆さんに知ってもらつたうえで進めることができ大事なので見直しにあたっては周知していく。現在の計画を表に出すかについては少し時間をいただきたい。

教育長就任2年を振り返って… 目指した教育は出来たのか

議員 「周りとコミュニケーション出来る力、自分の考えを深める力、創造性を持った子供を育てる教育に取組みたい」としていたがどう取組んだか。

教育長 子供一人一人の「個」の確立を目指したいとの思いを教職員研修会や校長会、教頭会などの折に先生方に伝えてきた。また全教職員、全家庭に学校教育の重点をお知らせしてきた。授業の中で自分の考えをもって追及を深める姿

や子供たち同士が深め合う姿に手ごたえを感じている。

議員 子供の孤立化防止についての取組みは。

教育長 集団の中で育つ子供には協力して作ること、課題を一緒に解決すること、足りない部分を補完し合うことを子供たち同士が作るよう取組んだ。集団に入れない子供については情報や雰囲気をオンラインで配信し、学級や先生とのつながりが切れないようにした。本年4月からは多様な学びコーディネーターを配置し孤立化解消に取組んでいる。

議員 自尊感情や共感する心を育てる取組みは。

教育長 日常の教育活動の充実があるにあると思う。共同学習やふるさと学習のなかで周りと自分、地域と自分を学びながら自尊感情や共感する心を育んでいきたい。

議員 子供たちに適度な不遇や我慢を経験させることは大事と思うが。

教育長 子供を大切にすると言うのはとても大事だが大切にする中身が問題。新たな壁にぶつかって乗り越える過程で身に着けることは沢山ある。乗り越える力をつける教育は必要と思うし、学びとして乗り越えなければならない壁は必要だと思う。

その他の質問

●福祉車両購入費助成を

区・常会などの組織の加入状況は

町長 94.8% (アパート以外)加入

こ い で じ ま ふ み お
小出嶋 文雄 議員



議員 常会などへの加入率も減ってきており、人口減少や担い手不足などによる近隣の区や地区などとの連携を図った活動は、行われているか。



東箕輪3区共同利用
子育てサークルの部屋

町長 特に小規模な区があります西部5地区は、懇談会として、富田・上古田・下古田・中曾根・中原の、それぞれの区の区会議員さんが集まって、町に対する提案でありますとか要望などを横の連携を図っている。

北小河内区で子育てサークルが利用する部屋を北小河内公民館内に設置、整備をし、東箕輪3区の子育てサークルが共同で利用している事例も出てきている。

負担軽減という意味合いでも、こういった連携した取組ということも必要かなというふうに思っており、地域総合活性化交付金などを活用して、町としては財政支援を図っていきたい。

区の役員などの負担軽減を

議員 町の業務や事業を、区などを通じたり、地域の嘱託員などの業務として、行政への協力業務を行っている協力業務の現状と区の役員だとか嘱託員の負担軽減の状況は。

町長 町からお願いをしている業務として、区、常会に依頼している嘱託員という制度の中でお願いしている区長である連絡事務嘱託員長、常会には連絡事務嘱託員、衛生事務嘱託員、農業事務嘱託員、農業共済の班長、統計調査員、日赤奉仕団とかがある。また、公民館、分館でありますとか交通安全協会、地区社協、青少年健全育成会、民生児童委員、老人クラブ等々あるわけですけれども、その中で、確かに行政が、行政独自で実施ができないので、それを区にお願いをしている部分については、やはり担い手不足でありますとか、役割の負担増でありますとか、地域コミュニティが厳しい状況の中にあって、負担軽減を図る方向に持っていくかなければいけないというふうに思つており、町では昨年から組織の見直しについて検討をし、本年度から保健補導委員さんの組織を解散。日赤奉仕団につきましては、令和6年度から正副委員長は町全体から選出し、団員の選出は、団員数の縮小を基本として、選出するという見直しを行うこととしている。

地域活性化に町のアドバイスを

議員 地域コミュニティ活動の維持と地域活性化のため、高齢化と担い手不足を支援する町のアドバイザーなどの支援の考えは。

町長 行政からお願いしている仕事と区が区としてやらなければいけない仕事がある。人口減少高齢化が進展する中で、高齢化、担い手不足、後継者がいないから、元気がなくなったから町に任せますというスタンスになると動きが取れなくなる。区や常会に対して地域活性化のために活動をしてもらうため町も支援をしていく。地域活性化事業交付金も活用しながら十分支援していくので、地域中心の地域づくりを考えてほしい。

地域総合活性化事業交付金の見直しは

議員 地域の活性化の目的でできた地域総合活性化事業交付金制度が20年を経過する中での総括とこれからの方針は。

町長 規模も財政力も違う区がそれぞれの地域が活性化できるよう町として支援していく必要がある。住民税の1%財源として入れて区にお返ししようという基本的な考え方だが、区の運営費や固定した事業だけに使うのは本意ではない。事業が硬直化してきている感があるので、見直しは必要だと思う。

有機給食導入の考えは

なかのともみ
中野 友美 議員

町長 スタンスはまず、地産地消から



議員 有機給食を実現する取り組みが、近隣自治体で活発化している。町は、有機農業の取り組みを進めているが、給食の有機食材化はどうか。

町長 今のスタンスはまず、でき得る限り地産地消にすること。地産地消54%に達している。他自治体の給食もすべてが有機ではない。オーガニックの宣言が「宣伝」になっているのも実態。みのわテラスを通し学校に出せる販路はある。課題は、有機食材を作る農家の確保である。

子供の脳を守る給食

議員 有機給食は、アレルギーや無気力、異常行動など、心にも影響を及ぼすことがわかっている。子どもに起こっている問題解決の糸口になる。学校側の所見は。

教育長 有機食材を給食に入れるることは大事なこと。ただ、農薬が全ての人の脳に悪影響があるような極端な話として先行するべきではない。有機野菜にいる虫を異物と捉えるとすれば、保護者はじめ我々大人の意識に働きかけていかないと、大きく変えていくのは難しい。

議員 有機給食実現のため、コーディネーターの配置が必要。町の考えは。

町長 農政サイドも含め配置が補助事業的にもある。コーディネーターにお願いする分野も含め研究する。



農地と住宅地

空き家の対策と定住支援の拡大を

議員 2020年の調査で空き家は430件、うち解消は127件。対策の効果と今後の考えは。

町長 空き家の相談を受け、空き家バンク・空き地バンク・片付け・改修・解体の補助金など、施策を組み合わせて対策し効果が出ている。来年度までに、新たに調査し全町を把握、解消に努めていく。

議員 移住の実績は、昨年度134人で過去最高。町内に住宅を取得した若者世帯へ住宅取得費用の助成は、昨年度66件3,520万円である。効果をどう捉えているか。

町長 町内・県内からの移転がほとんどで県外・都市部からの移住者を増やす施策の成果とみるには問題である。

議員 若者世帯定住支援奨励金は基本の交付に加算がある。その中の「同居加算」について、条件を広げてみてはどうか。①既にある親の家に同居するリフォームや増築への加算。②支援対象年齢の拡大。

町長 親との同居条件は検討する。年齢条件は少子化対策として限定してきたが、制度趣旨を含め検討する。

新規宅地の今後の考えは

議員 農地から宅地への転用は3年間で236棟、共同住宅12棟。農地11万1,768平米相当が宅地に転用された。世帯数は330件増えたが、人口は122人減で人口増加にはつながっていない。むやみに宅地を増やすことを疑問に思う。住宅計画についてどう考えているか。

町長 行政が宅地を造成して分譲する時代ではない。農業振興地域は整備計画の中で議論をしていく。住居用途地や団地化地域でも住宅が建っていない、空き家になっている場所もある。そこに誘導するような対策が必要だ。

議員 持続可能なまちづくりは、空き家・親の家の活用、造成よりも更地化など、今あるものを活かすことにはじめることで切るべきでは。

町長 例えば北城などは非常に使いやすい場所。解体を促進する手法はあってもいい。農地や林地を潰して住宅を建てるだけが行政ではない。考えていく。

その他の質問

- 学校教育の取り組みに関する
昨年度質問の進捗について

再犯防止推進計画を策定、犯罪発生の要因は

寺平 秀行 議員

町長 孤独感や寂しさなどが推察



高齢者の再犯の現状は

議員 再犯の防止等の推進に関する法律では、再犯防止施策の実施責任が国だけでなく、地方公共団体にもあることが明記されている。これに基づき、箕輪町でも再犯防止推進計画が策定された。再犯防止計画によると、伊那署管内で検挙された刑法犯のうち65歳以上の割合は31.6%、無職の割合は43.4%である。これらの犯罪発生の要因をどのように分析しているか。

町長 高齢者の再犯の現状は、伊那警察署管内の刑法犯罪の件数は年によって変動があるものの、全体としては減少傾向にある。具体的には75件から95件程度で推移している。65歳以上の高齢者の犯罪割合は約30%であり、特に窃盗犯の割合が高くなっている。犯罪の原因については具体的な分析がないため明確には分からぬが、孤独感や寂しさ、生活苦、精神的な不安定さ、依存症や認知症などが要因として推察される。

居住支援は

議員 適切な住まいが確保されていない刑務所出所者は、更生保護施設などに入所した仮釈放者と比べて、2年以内に再び刑務所に入所する率が約2倍高くなっている。このことから、適切な住まいの確保は再犯防止を進める上で最も重要な取り組みは。

町長 高齢者の再犯率を下げるためには、環境を変えることが必要だ。特に居住面でサポートが重要であり、刑務所の方が生活がしやすいと感じさせては困る。公営住宅や家賃の安い住宅のあっせんが必要。生活に困っている方や住宅が確保できない方に対しては、公営住宅をあっせんし、連帯保証人は基本的に不要としている。

犯罪防止策は

議員 犯罪が少ない地域では、住民同士の信頼関係が強まり、地域コミュニティがより強化される。犯罪防止策の取り組みは。

町長 箕輪町における令和5年度の刑法犯認知件数は55件で、令和4年の52件とほぼ同じである。内訳は、万引きが17件、自転車盗が3件、車上狙いが1件、器物損壊が4件、忍び込みが1件、不同意わいせつが1件、その他28件です。万引きが全体の3割を占めている。対応策としては、防犯街灯の設置や修繕、小学校近くの地下歩道に防犯カメラやカーブミラーの設置などのハード対策を行っている。また、地域の見守り隊や青色パトロール、安全安心パトロールによる巡回、一般的な広報活動などのソフト対策も実施している。犯罪防止は基礎自治体にとって難しい課題だが、セーフコミュニティの新たな条例に犯罪防止策を取り入れ、行政として取

り組んでいきたいと考えている。

9060問題への考えは

議員 8050問題とは、80代の親が50代のひきこもりの子供を支える問題だ。この問題が長期化・長寿化することで、9060問題に発展し、さらに深刻になる可能性が指摘されている。9060問題も視野に入れた取組について考えは。

町長 8050問題では、80代の親が50代の子供を支えることで経済的・精神的負担が大きくなっている。これは子供のひきこもりの高齢化が原因とされている。問題は親の介護や子供の障害、生活困窮などが絡み合っており、様々な支援者が連携して重層的に支援する必要がある。今年度、町では福祉課に生活相談室を設置した。さらに、9060問題もある。90代の親が60代の子供を支える状況で、経済的・身体的負担が深刻化し、親が適切な医療や介護を受けられなくなる恐れがある。町としては、多職種・多機関が連携してサポートし、職員も対応力を強化する必要がある。



その他の質問

- 就職氷河期世代の老後
- 熊の対策
- 自治法改正について

生ゴミ削減に「キエ一口」を導入してみては

町長 補助制度の拡充も含めて検討する

うえだまなぶ
上田学議員



郷土愛プロジェクト

議員 昨年11月に行われた箕輪町での第10回キャリア教育上伊那交流会の具体的成果と現在直面している課題は。

教育長 郷土愛プロジェクトは上伊那広域連合地域振興課の外郭団体で、上伊那8市町村のキャリア教育を推進している。昨年度の交流会では、9歳から80代までが一緒に未来を描く活動を行い、多くの意見が交わされた。子供たちが大人から学び、大人も子供から多くを学ぶ場となった。課題としては、このような単発の活動を今後どのように継続していくかが挙げられる。

議員 20年後の箕輪町を考えるというテーマについて、実際に生徒からどのようなフィードバックがあったか。

教育長 多くの生徒が将来について考えるきっかけとなったと把握している。

ゼロカーボン事業

議員 金額ベースで単年度だけではなく数年にわたる費用対効果を示す「決算書」のようなものを作る必要があると考えるがどうか。

町長 ゼロカーボン事業は国の補助金を活用しており、6年間の事業である。そのため、成果の評価は必要だと考えている。費用対効果を明確にする手法の検討を進め

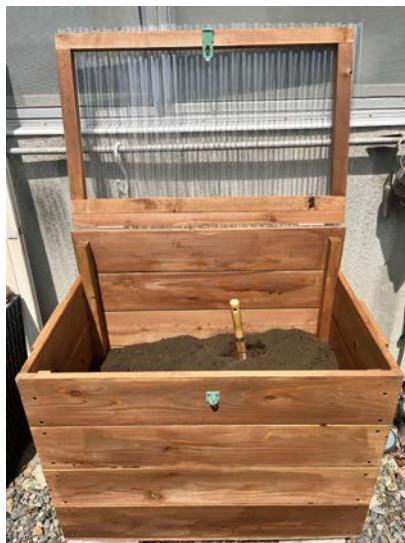
ており、適切な方法で公表する予定。

生ゴミ削減にキエ一口を

議員 生ゴミ削減の現状と課題は。
くらしの安全安心課長 生ゴミは燃やせるゴミとして処理されているが、水分量を減らすことが課題。電気式の生ゴミ処理機の補助制度を実施し、ごみ総排出量が削減されているが、さらなる周知と啓発が必要。

議員 キエ一口という生ゴミ処理方法について提案したい。箕輪町でも補助金等を出すことを検討いただけるか。

くらしの安全安心課長 キエ一口について調査し、ごみの減量に有効だと考えている。補助制度の拡充も含めて検討していく。



実際に使用されているキエ一口

地域おこし協力隊の今後は

議員 地域おこし協力隊の今後の採用は。

町長 引き続き新たな発想で活動していただきたいと考えている。毎年2~3人の採用を続けていく。

熊出没について

議員 クマを正しく恐れるために「くま育」を導入してみてはどうか。

教育長 クマを正しく理解し、自然学習の一環として取り入れていくことが大切。各学校での学習に活用できるよう検討していく。上田議員さんに各学校回ってもらって子供たちにくま育の授業をしてもらうとかそういうこともやっていただけないと、これはとてもありがたいことだなというふうに思いますので、ぜひちょっとまた相談させていただければ。



八乙女に出現しているクマ

多様な学びコーディネーターの活動内容は

町長 面談・家庭訪問等、様々に活動

おぐち ちせ 議員
小口 智世 議員



議員 今年度から教育委員会に設置された、多様な学びコーディネーターの活動内容と今後の方針は。

教育長 児童生徒・保護者、教職員に同行しての家庭訪問、フリー スクールや民間施設の訪問等、様々に活動。膠着状態だった状況が動き出した例もある。今後は、信頼関係構築を進め、個々の意思確認をしながらコーディネートしていく。

議員 保護者の方々から、「コーディネーターさんのお陰で学校への恐怖心が和らいだようだ」などの声がある。様子を見て増員を。

フリースクールに通う児童生徒の支援

議員 保護者の多くは、お子さんの不登校をきっかけに退職や時短勤務になるなど収入が減り、食費、フリースクール利用料など出費が増えている。特に町には平日昼間のフリースクールが少なく、他市町村に通うケースも。不登校家庭に対する金銭的支援の考えは。

教育長 フリースクールの活動内容や通室状況等を精査し、可能かどうか検討が必要。

熱中症対策

議員 民生委員の方が高齢者家庭に伺うと、玄関の戸を開けた瞬間に、もわっと熱い空気が出てくることがある、と聞く。他の自治体

で事例があるが、高齢者世帯や生活困窮家庭に対してエアコン購入費補助の考えは。

町長 この地域では、現実問題として考えられる状況ではない。

議員 アラームつきの熱中症指数計測器を家の中に設置したり、民生委員などが携帯して数値表示といいのでは。



町長 高齢者の皆さん 熱中症指数計測器は体温調節が不得手。参考とする。

誰一人取り残されない町の実現

議員 17歳町民意識・生活実態調査について、「生活の中でジェンダーによる不平等を感じるか」の問いに対し、「ない」が59.3%、「ある」が8.8%という回答。結果への所見は。

町長 ジェンダー平等について初めて若者の意見を聞いたが、想定どおりだった。不平等を感じていない男性は76.3%、女性は47.2%。不平等を感じている女性の割合が高いことが課題。

議員 少子化や自殺対策などのためにも、教育とジェンダーの課題が重要。現在人気の朝のドラマで、男性間の同調圧力を表していると思われるセリフがある。弱みを見せられず相談できない男性が多く、自殺率の高さにつながる。女性が「すん」とするのは、「わきまえた女

性」でいるのを求められてきたからとも言え、議員などのなり手不足につながる。愛し合って生まれたことや、対等な人間として尊重し合うことを子どもに伝えられるような包括的性教育を含め、社会的性別役割について気づきを得るような研修を、職員・町民向けに行つては。

町長 意識よりも、具体的にあるべき姿を作るのが大事では。担当課を中心に検討する。

議員 ひきこもりの方の支援は。

町長 保健師とつながり、町で把握できている方は約50人。年代別では、20代が15%、30代が25%、40代が27%、50代が27%、60代が6%。支援者との交流を重ねているが、本人と会えないことも。全国で推定147万人とされ、その割合を町に置き換えると、約250人いると推定される。相談窓口の明確化や関係機関との連携強化が必要。親御さんからでもいいので相談に来てほしい。

議員 役所には相談に行きづらいと聞くことがある。民間のサポートを養成し派遣する、県のひきこもりサポート事業があり、飯島町では行動の変容が見られたと聞く。町民が見守っているというメッセージにもなるので、まずは少人数でも取り入れてみては。

町長 役所の人間だと戸惑うことがあるのかもしれない。事例があるなら、その成果等を見ながら考えたい。

今回的人事移動に対する 町長の所見は

町長 機能強化を目指したものである

なかむら まさよし
中村 政義 議員



議員 令和6年4月1日付けの人事移動、新聞紙上では組織改編などに伴う総勢68人の中規模移動と報道、今回的人事移動に対する町長の所見は。

町長 一般事務職員151人中68人の移動ということで、中規模移動と表現。定年延長制度が取られてから初の人事異動であったということ、課・室・係の再編があり、機能強化を目指したものである。長期在職という事も配慮し課長等の管理職の配置替えは多く、補佐級・係長級では若手の登用を図った。ただ欠員の解消には努めたが、新規採用が十分でないことも含め、欠員の解消すべてとはいかなかった。保育園関係は、年齢構成が非常にいびつな状況で、園長への登用がなかなか難しい状況にある。これについては来年の課題となっている。

議員 課長級は3人が昇任し、計13人入れ替わった。町長の目指していくものは、プロフェショナルなのかオールマイティーなのか。

町長 基本的には職員というのは、住民から幅広い要望とか提案をいたたくわけで、ジェネラリストとしての意味合いが強い。そういう意味では、若手の職員のときに比較的早い段階で各部署を経験することは必要。一方で、最近は行政の熟度が上がり、高齢化したり複雑化している為、スペシャリスト人材は必要である。町の組織の場合はどちらかといえば、適性とか専門

性を見て、マネージメントする能力がどのくらいあるかというそいつたことが必要。スペシャリストであるか、ジェラリストであるかというところは、あまり観点はない。

議員 県や豊島区との研修派遣は継続するようだが、民間企業との人事交流の考えは。

町長 公務の外で経験するということはそれなりに必要だと思う。ただ一方で、官と民が今はそんなに違わないであまり意味は感じない。

小中学校の現況は

議員 4月から新1年生を迎えたが、登下校時の事故の対処はどのように取り組んでいるのか。

教育長 中学校新一年生の自転車通学に対しては、毎年自転車通学会を年度当初に開き、自転車通学が安全にできるように指導している。その内容の中に、急な事故時の具体的な対応は入っていないようなので、今後は取り入れたい。小学校は入学いらい毎年、年度当初に警察や安協の方の協力で交通安全教室を実施、交通安全に取り組んでいる。

議員 ふるさと学習の推進、特に箕輪学の取組は。



教育長 大切な学習として位置づけている。しっかりと箕輪町のことを知って理解、愛着を持ってもらう事が大事。

農業支援の現況は

議員 農業従事者の減少、高齢化もあり、農業従事者に対する支援は必要であると感じるが、現在行われている農業次世代人材支援事業の支援内容及び、利用状況は。

町長 農業従事者の減少、高齢化対策は農業にとって重要な課題である。新規就労者の確保、兼業農家の維持は当町にとっても課題。国で行っている事業としては、農業人材力強化総合支援事業というもの、最長5年間農業に従事すると150万円支給があるが、年齢が49才以下・年間農業所得目標が250万円の就農計画の作成・年間労働時間が2000時間を確保といった要件は厳しいが、当町においては14名の方が利用。国の要件を満たしていくことが箕輪町の農業状況からはなかなか難しいこともあります、本年度から町独自の三つの事業を新たに付け加えた。①兼業就農者支援事業②定年帰農者支援事業③雇用就農支援事業である。国の要件に満たない農家の方、年齢要件等はありますが、ぜひ活用していただきたい。

公用車の100%EV化は見直すべき

町長 ハイブリッド車なども残していく

おかだけんじろう
岡田 建二郎 議員



議員 町のゼロカーボン計画では、2030年までに全ての公用車を電気自動車に更新する計画となっている。様々な使途が想定される公務現場で100%EV化することのリスクもある。ガソリン車やハイブリッド車など多様な車種も残すべきではないか。

町長 中長距離の移動が前提の公用車があるので、必要に応じてハイブリッド車なども残していく。

議員 事業所向けの太陽光に関する補助申請が1件と低調である。箕輪町のCO₂排出量4割を超える産業部門と共同しなければ、町の計画は達成できない。事業所の意向も確認し、障壁をクリアできる制度設計を模索すべき。

町長 議会終了後に町内事業所を訪問し、町ができる範囲を改めて検討していく。

議員 太陽光発電に関する町独自の指針は、検討段階でも決定段階でも議会が関われない。条例化を検討してきたこれまでの経緯からすれば、議会への説明の機会も設けるべきだったのではないか。

町長 手続き上、府内決済で進めたが、これまでの議員からの問題提起も盛り込んだ指針としている。

議員 6月議会をもって、全ての近隣自治体が許可制の条例を制定した。憲法との整合性も課題として残るが、太陽光発電の開発に伴うトラブルの際、居住する自治体が広く住民の利益を守ることを宣言するのが、許可制条例の位置付け

と受け止めている。改めて町独自の条例化を検討すべきでは。

町長 同意書という存在が憲法の規定にそぐわないという判断であり、理解を求める。地域が同意できないような事案が生じれば、町としては当然住民の側に立って対応していく。

防霜ファン・かん水施設など果樹農家の設備投資に支援を

議員 農業の後継者不足などが社会問題化する一方で、果樹栽培では新規就農・規模拡大とともに増大している。毎年のように発生する気象災害への備えとして、防霜ファン・かん水設備・防風ネットなどの設備投資に町としての嵩上げ補助を実施すべき。



防霜ファンが完備された果樹園

町長 果樹農家への聞き取りでは防霜ファンの効果は絶大だと聞いている。国・県の支援制度もあるので、来年度に向けて研究したい。

古田人形伝承300年記念事業は次の100年に繋がる事業に

議員 今年度予定されている300年記念事業では、淡路の人形座を招いての定期公演への補助として予算化されているが、300年という節目の事業を1日限りの公演で済ませるのではなく、複数年度に渡る事業とすべき。

教育長 公演だけで終わらないよう、記念冊子の刊行、博物館の改修イベントや町政70周年事業での公演など、機会を見て周知に努めしていく。

議員 阿波の公演会場では壇上に電光掲示板が設置されており、初めて観劇する方や外国人にも配慮されている。多文化共生や障がい者への配慮にもなるので、文化センターに電光掲示板を導入しては。

教育長 口語訳が見られる方法についてどの様な可能性があるか検討する。



十郎兵衛屋敷での電光掲示板

仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治 チカラ Vol.2

灯りをつなごう町なかのゲンジボタル

箕輪中学校の東、「清水の小径水辺公園」では、今年もゲンジボタルが舞いました。

公園がある場所は、元々湧き水の出る休耕地でした。平成21年当時松島区長だった故・日野和司さんの、



現在も活躍中の歴代中心メンバー左から松田万千人(現会長)さん、加藤壽一郎さん、黒木一郎さん、御子柴進さん

「ホタルが舞う公園にしたい」という思いから、公園化計画がスタート。平成24年に公園が完成し、翌年ホタルの放流を開始。試行錯誤を繰り返

し、5年後にやっと自生。

松島区会議員を卒業したメンバーで構成した「水辺公園を守る会」。現在も33名の会員が、日野さんの思いを受け継ぎ、ホタルの餌になるカワニナの放流、公園の草刈りなどの活動しています。今の環境では、人が手をかけないとホタルの自生は難しく、6名の会員が、自宅で繁殖用のホタルを預かり、孵化まで飼育をしています。

会員の皆さんのがんばりと思いを受け継いでいきたいですね。



区会議員卒業生だけでは“ごしたい”ので、メンバー募集中。ぜひ松島区までご連絡を。
☎ 0265-79-2009



@hara_nagano_photo

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

- | | |
|-----|---|
| 1日 | 議会、監査辞令交付 |
| 2日 | 広報特別委員会 |
| 3日 | 保育園入園式 |
| 4日 | 小学校・中学校入学式 |
| 5日 | 広報特別委員会
箕輪進修高校入学式
伊那中央行政組合監査 |
| 8日 | 交通安全運動人波作戦 |
| 9日 | 広報特別委員会 |
| 10日 | 議会活動活性化委員会
議会委員長会 |
| 21日 | 菅野高原山開き
消防団春季訓練 |
| 23日 | 議会活動活性化委員会 |
| 26日 | 町防災交流施設竣工式
伊那中央行政組合例月出納検査 |
| 2日 | 役場ゼロカーボン工事安全祈願祭 |
| 8日 | 議会運営委員会
臨時議会
各常任委員会 |
| 10日 | 町商工会通常総会 |
| 11日 | フェンシング長野県選手権大会 |
| 13日 | 能登半島地震災害派遣活動報告会
議場システム先進地視察 |
| 14日 | 都市計画審議会 |
| 16日 | 地域間交流推進協議会
郡町村議会議長連絡協議会 |
| 17日 | 議会運営委員会
社会教育委員会
自衛隊協力会 |
| 21日 | 全国議長会議長・副議長研修会
長野県フェンシング協会総会
こども若者審議会 |

- | | |
|----|--|
| 5月 | 22日 伊那交通安全協会総会 |
| | 23日 社協決算監査
伊那中央行政組合議長会 |
| | 24日 広報特別委員会
長寿クラブ連合会新旧役員歓送迎会
交通安全緑十字会総会 |
| | 27日 農業再生協議会
町水防協議会 |
| | 28日 伊那中央行政組合例月出納検査
153号線伊那バイパス促進期成同盟会
総会 |
| | 29日 上伊那広域連合5月定例会 |
| | 30日 町道路河川愛護会決算監査・理事会
消防委員会委員会 |
| | 31日 6月定例会開会
町建設業協会懇親会 |
| 6月 | 5日 社会福祉協議会理事会 |
| | 6日 町交番連絡会総会 |
| | 7日 公民館運営審議会
町経営研究会通常総会 |
| | 10日 定例会一般質問 |
| | 11日 定例会一般質問 |
| | 12日 定例会委員会審査 |
| | 13日 定例会委員会審査 |
| | 14日 定例会委員会審査 |
| | 17日 6月定例会閉会
総務産業委員会 |
| | 19日 広報特別委員会 |
| | 20日 社会福祉協議会評議員会 |
| | 21日 箕輪進修高校振興協力会総会 |
| | 23日 消防懇談会（赤魚会） |
| | 25日 博物館協議会 |
| | 26日 水道運営審議会・下水道審議委員会 |
| | 27日 広報特別委員会
町戦没者慰靈祭
伊那中央行政組合例月出納検査 |
| | 28日 町観光協会理事会・総会 |

9月定例会の日程

- | | |
|---------------|-------|
| 9月2日(月) | 開会 |
| 9日(月) | 一般質問 |
| 10日(火) | 一般質問 |
| 11日(水)～13日(金) | 委員会審査 |
| 17日(火) | 閉会 |

編集後記

先日、歌番組を観ながら踊っていたら、娘が大笑いした後に「母親って、こんなに踊るもの?」と。私は、「母親でもあるけど、ばあばにとっては娘だし、社会人だし、いくつかある役割の1つで、その前に私という1人の人間なんだよね。踊る母親も、踊らない母親もいていいと思うんだけど、どう思う?」と答えました。広報委員の役割としては、町民の皆さまのため、というのが外れないように、あまり「すん」とせずに議会だよりを作っています。

(小口 智世)

議会だよりに関するご意見が
ありましたらお寄せください。

議会事務局

電話 0265-79-3187(直)

お問い合わせフォームはコチラ▶



[議会広報特別委員会]

中野 友美(委員長) 白鳥 真吾(副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世